

## 避けられない災害の備え

備えは必要なので、保険には入っていないからだと考えています。収入保険制度を初めて聞いたとき、基準収入の約9割を補償してもらえること、自然災害や価格低下が補てんの対象であることに魅力を感じました。

2年前に父から水稻の経営を引き継ぎ、本格的に農業経営を始めました。これまでの水稻共済では3割の不担保部分があり、獣害が多いこの地区では十分な補償ではないと思っていました。収入保険は収入減少を補てんするいい制度だと思います。

青色申告は父のころからやっていたので、大変だということはありません。青色申告をしていることが信用につながるので、個人の営農には強みになると思います。

現在ナラシ対策（収入減少影響緩和対策）にも加入しており、水稻共済と両方の掛金を合わせると、収入保険の掛金はそれほど高額ではないという印象です。それよりも、最近頻発している自分では避けようのない災害に備えることに重点を置き、収入保険への加入を検討しています。

▷水稻9.5畝（ヒメノモチ、コシヒカリ、八反錦、こいおまち）



（農業共済新聞 中国版 2018年6月2週号より）

安芸高田市高宮町 清水 則雄さん（46歳）